

同報系防災行政無線を整備



市役所内の防災無線室

東日本大震災による計画停電や臨時給水の実施などの際に、合併前に関宿地域に設置されていた「同報系防災行政無線」が広報手段として有効に機能したことから、市では、このシステムを市内全域に拡大しました。

屋外の拡声器から 一斉に情報発信

東日本大震災の影響による計画停電情報や臨時給水実施のお知らせを、市や消防団の車両を通じて行ったところ、市民の皆さんから、「聞き取りにくい」「情報を得られなかった」などのご意見をいただきました。

一方、関宿地域では、緊急時に屋外に設置した拡声器から一斉に情報を発信できる「同報系防災行政無線システム」を合併前から備え、有効に機能しました。

市では、災害時の情報収集、通信手段として、「移動系防災無線」を避難場所などに設置しています。支部連絡所を通じて、各地区の被害状

況や避難所の状況などを、災害対策本部に速やかに伝達し、速やかに応急対応の指示を行う体制整備をしてきましたが、これに加え、災害情報などを市内全域に一斉放送する「同報系防災行政無線」を整備しました。「同報系防災行政無線」は、親局を市役所に設置し、子局となる拡声器を市内全域で212か所に設置（関宿地域の既存施設は改修）して、4月1日より運用を開始しています。

屋外拡声器に加え、希望により聴覚障がい者の自宅には、文字表示機能付きの戸別受信機を設置し、また、高齢者介護施設などにも戸別受信機を設置しました。さらに、川間駅南口、七光台駅西口、清水公園駅東口、梅郷駅西口にはLED式の電光掲示